

健康づくり計画 歯と口腔保健計画 食育推進計画に関する行政の取組

参考資料1

健康づくり計画

1生活習慣の見直し～分野別・ライフステージ別の健康づくり～

(1) 栄養と食生活

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
妊娠期・乳幼児期	1	食生活を振り返り改善するための栄養指導、栄養相談を実施する。	給食の内容について献立検討会・物資選定委員会等で改善に取り組んだ。	給食の内容について献立検討会・物資選定委員会等で改善に取り組んでいく。	保育課
			献立検討会、物資選定委員会等の意見を元に保育園と栄養士が連携して、給食内容の改善や食育指導に取り組んだ。	献立検討会、物資選定委員会等の意見を元に保育園と栄養士が連携して、給食内容の改善や食育指導に取り組む。	学校教育課
			離乳食教室(13回89人)、もぐもぐ歯っぴい教室(9回74人：内オンライン形式4回)で望ましい食生活について講話を行った。また、1歳6か月児健診(21回43人)、3歳児健診(24回18人)、子育て相談(36回150人)において栄養相談を実施した。	食生活の振り返りができるよう、離乳食教室において、正しい知識を普及する。また、継続して幼児健診、子育て相談で栄養相談を実施していく。子育て支援センターにおいて食育ボランティアが栄養、食生活に関する講話を行う。	健康推進課
	2	栄養に関する正しい知識を普及する。	栄養士と連携し、媒体を使った話の場を設けたり、日々の給食の中で食育栄養パネルを使用し知識の普及に努めた。	栄養士と連携し、媒体を使った話の場を設けたり、日々の給食の中で食育栄養パネルを使用し知識の普及に努めていく。	保育課
			保育園と栄養士が連携して、食品媒体等を用いて食育指導を行った。	保育園と栄養士が連携して、食育媒体等を用いて食育指導を行う。	学校教育課
			「栄養満点ふりかけと野菜たっぷりお味噌汁講座」を実施した。 日時：5月8日(月)午前10時～正午 会場：美和公民館 1階調理室 対象：1～2歳児1名とその家族1名 受講者数：7組14名	幼児期家庭教育講座として、食育に関する講座を実施する。 日時：5月8日(水)午前10時～正午 会場：美和公民館 1階調理室 対象：幼児とその家族1名	生涯学習課
	3	朝食を取ることが難しい人には簡単な朝食の取り方を提案する。	離乳食教室(13回89人)、もぐもぐ歯っぴい教室(9回74人)の栄養講話、パパママ教室(9回122人：内オンライン形式3回)でのバランスガイドの配布を通し、栄養に関する正しい知識の普及を行った。	パパママ教室において栄養についてのバランスガイドを配布する。離乳食教室にて栄養に関する正しい知識を普及する。幼児健診や子育て相談においても必要に応じて栄養士による個別相談を推奨していく。子育て支援センターにおいて食育ボランティアが栄養、食生活に関する講話を行うために保育園と調整し実施する。	健康推進課
			乳幼児健診(84回)や子育て相談(36回)にて保健師や栄養士が個別相談を行った。また、市公式ウェブサイトにて、朝食の大切さについてや食育ボランティアによる朝食が取れるような簡単なメニューレシピも掲載し、朝食を取ることの大切さを啓発した。	乳幼児健診や子育て相談にて保健師や栄養士が必要に応じて訪問や個別相談を行う。4月11日「しっかりいい朝食の日」に合わせて若い世代向けに基目寺駅周辺で朝食を取ることの大切さについて啓発を行う。また、広報、市公式ウェブサイト、市公式LINEにて、朝食の大切さや食育ボランティアによる朝食が取れるような簡単なメニューレシピを随時更新し掲載していく。	健康推進課
	4	妊娠期から母乳育児の指導、相談を実施する。	妊娠期はパパママ教室(9回122人：内オンライン形式3回)で助産師による母乳育児の指導を行った。産後は、乳児健康診査(20回21人)、子育て相談(36回84人)において母乳相談を実施した。また、訪問にて母乳相談が必要な方に対しては、助産師訪問(9人)を実施した。	妊娠期はパパママ教室にて母乳育児の指導を実施する。産後は3～4か月児健康診査、子育て相談にて母乳相談、指導を実施する。また、必要に応じて助産師訪問を随時実施する。	健康推進課
	5	マタニティ教室や離乳食教室等で、望ましい食生活について啓発する。	パパママ教室(9回122人)において、栄養についてバランスガイドを配布し、バランスよく食べることの大切さを啓発した。離乳食教室(13回89人)、もぐもぐ歯っぴい教室(9回74人)では離乳食ガイドブックを用いて正しい知識の普及を行った。幼児健診においても必要に応じて栄養士による個別相談を推奨し、望ましい食生活の啓発を行った。	パパママ教室において、栄養についてバランスガイドを配布し、バランスよく食べることの大切さを啓発する。離乳食教室、親子で遊ぼう!歯っぴい教室で正しい知識の普及を行う。幼児健診においても必要に応じて栄養士による個別相談を推奨し、望ましい食生活の啓発を行う。	健康推進課
	6	食文化や食事の大切さ、マナーを家庭に啓発する。	栄養士による園児への指導を行った。また、給食日より及び献立表、楽しく食べようニュースを生かして保護者に啓発を行った。給食日よりや献立表を活用し、保護者への啓発を行っている。	栄養士による園児への指導を行い、また、給食日より及び献立表や楽しく食べようニュースを生かして保護者に啓発をしていく。	保育課
	7	食育の日(毎月19日)を啓発する。	食育の日は食育計画に沿った活動を園便りや掲示板で保護者に知らせ啓発に努めた。	食育の日は食育計画に沿った活動を園便りや掲示板で保護者に知らせ啓発に努めていく。	学校教育課
	8	給食で、伝承行事食として、行事に合わせた食事やおやつを提供する。	給食の献立を園の伝承行事に合わせて提供した。保育園と連携して、園の伝承行事に合わせた献立を提供した。	給食の献立を園の伝承行事に合わせて提供していく。保育園と連携して、園の伝承行事に合わせた献立を提供する。	保育課
	9	保護者の給食への関心、興味を深めるため、給食試食会を実施する。	保育園と栄養士が連携して、給食だよりに「リクエスト献立」のレシピの紹介を1月から行う予定。3・4・5歳児の保護者に対して給食試食会を実施した。	保育園と栄養士が連携して、給食だよりに「リクエスト献立」のレシピの紹介を行う。3・4・5歳児の保護者に対して給食試食会を実施していく。	学校教育課
10	給食だよりの充実を図る。	保護者に給食だよりや献立表を配布し、食に関する知識を普及した。	保護者に給食だよりや献立表を配布し、食に関する知識を普及させる。	保育課	
11	食育を推進する。	栄養パネルを使用して、その日の給食の内容を確認し、保育園で野菜作りや行事等を実施した。また、各部署が連携して食育の啓発を推進した。	栄養パネルを使用して、その日の給食の内容を確認し、保育園で野菜作りや行事等を実施していく。また、各部署が連携して食育の啓発を推進していく。	学校教育課	
12	食生活改善推進員の活動を支援する。	広報10月号、3月号(予定)に食育ボランティアによるレシピを掲載。また、おやつ教室(2回)の活動を支援した。	食育ボランティアが行う、各種食育推進活動を支援していく。	保育課	
13	保育園を訪問して、幼児に対して食に関する指導を行う。	栄養士が各園を訪問し、園児に対して食品カード等を使用し、食に関する指導を行った。	栄養士が各園を訪問し、園児に対して食品媒体等を使用し、食に関する指導を行っていく。	健康推進課	
14	保育園で栽培した作物を給食で使用する。	保育園で野菜作りを行い、給食に使用した。保育園で栽培した野菜を給食献立に提供した。	令和6年度より廃止。 納入数の確保が難しいため、令和6年度より廃止。	保育課 学校教育課	

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
児童期・ 思春期	15	食育を推進する。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画を作成した。また、校内食育推進委員会などを活用し、教職員の食に関する意識を高めるよう働きかけを行った。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画を作成する。また、啓発資料などを活用し、教職員の食に関する意識を高めるよう働きかけを行う。	学校教育課
			食育の日には毎月テーマをもった献立を実施し、指導や便りなどで啓発した。	食育の日には毎月テーマをもった献立を実施し、指導や便りなどで啓発する。	学校教育課
	16	小学生を対象とした農業体験等、栽培、収穫活動を実施する。	食育ボランティアによるおやつ教室を開催した。 開催日時：6月8日(木)参加者5人 7月26日(水)参加者9人	広報、市公式ウェブサイト、市公式LINE、メール配信サービスにて、朝食の大切さや食育ボランティアによる朝食が取れるような簡単なメニューレシピを随時更新し掲載していく。	健康推進課
			一部の学校の畑でさつまいも・大根・ジャガイモ・カブなどの栽培活動を行った。また、生活科の授業の一環でミニトマト等の野菜を栽培した。	一部の学校の畑でさつまいも・大根・ジャガイモ・カブなどの栽培活動を行う。また、生活科の授業の一環で野菜を栽培する。	学校教育課
	17	地域の交流や食に対する意識を高めるため、料理教室を開催する。	教室名 「親子パン作り教室」 開催日 令和5年12月9日(土) 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 親子でパンの作り方を学ぶ講座 参加者 親子7組 14人	教室名 「親子パン作り教室」 開催日 令和6年12月 場 所 あま市人権ふれあいセンター 内 容 親子でパンの作り方を学ぶ講座 定 員 親子8組	人権推進課
			「オーブントースターで焼くパン講座」等、親子で作り方を学びながら調理できる講座を実施した。 「オーブントースターで焼くパン講座」 日時：①4月29日(土)午前10時～正午 ②9月2日(土)午前10時～正午 会場：美和公民館 1階調理室 対象：小学生とその保護者 受講者数：①12組24名、②11組23名	「オーブントースターで焼くパン講座」等、地域住民や親子で作り方を学びながら調理できる講座を実施する。	生涯学習課
18	望ましい食習慣を身につけさせるよう、栄養教諭・学校栄養職員による指導を行う。	食育ボランティアによるおやつ教室を開催した。 開催日時：6月8日(木)参加者5人 7月26日(水)参加者9人	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導を実施している。	食育ボランティアが地域の交流や食に対する意識を高めるために開催する料理教室を支援していく。	健康推進課
19	食生活改善推進員の活動を支援する。	12番のとおり	12番のとおり	12番のとおり	健康推進課
青年期・ 壮年期	20	食に関する知識の普及や相談を実施する。	「パンとお菓子づくり講座」を実施した。 日時：6月5日・12日・19日(月)午前9時30分～正午 会場：美和公民館 1階調理室 対象：一般 受講者数：23名	「パンとお菓子づくり講座」を実施する。	生涯学習課
			特定健診受診者への健診結果受け渡し時に食事のポイントに記載したリーフレットを配布し知識啓発を行った。また、特定保健指導該当者に対し、保健師や管理栄養士による相談及び指導を実施した。	特定健診受診者への健診結果受け渡し時に食事のポイントに記載したリーフレットを配布し知識啓発を行う。また、特定保健指導該当者に対し、保健師や管理栄養士による相談及び指導を実施する。	保険医療課
	21	掲示板、公共施設等身近な場所で目にとまる啓発を行う。	8月19日(土)に開催された「あまつり(288人)」と10月21日(土)に開催された「あまのわ(114人)」で、野菜350gの計測コーナーを設け、1日の野菜摂取量の目標量を実際に計測することで体感してもらい、野菜摂取量の増加を促した。また、あまのわではベジチェック(85人)を実施し、野菜摂取量促進の啓発を行った。 保健センターの個別栄養相談(2人)で、食に関する知識の普及や相談を実施した。	出前講座やイベント、保健センターでの個別栄養相談にて食に関する知識の普及や相談を実施する。	健康推進課
			野菜摂取量増加を促すため、市内店舗に対し、「たっぷり野菜♥あまごはん」「健康づくり応援店」を周知し、市内8店舗の飲食店を認定した。市公式ウェブサイトに掲載。1月号広報にて掲載予定。	野菜摂取量増加を促すため、「たっぷり野菜♥あまごはん」「健康づくり応援店」を増やすよう、市公式ウェブサイト、広報等で啓発していく。今後は野菜を取り扱うスーパーや個人商店にも啓発範囲を拡大させていく。	健康推進課
22	広報や市公式ウェブサイトで朝食を取るよう呼びかけるなど、食の大切さについて情報提供を行う。	市公式ウェブサイトにて、朝食の大切さについてや食育ボランティアによる朝食が取れるような簡単なメニューレシピも掲載し、朝食を取ることの大切さを啓発した。 3月に市公式LINE、メール配信サービスにて周知予定。	市公式ウェブサイト、市公式LINE、メール配信サービスにて、朝食の大切さ等周知していく。4月11日「しっかりいい朝食の日」に合わせて若い世代向けに甚目寺駅周辺で朝食を取るものの大切さについて啓発していく。また、広報、市公式ウェブサイト、市公式LINEにて、朝食の大切さや食育ボランティアによる朝食が取れるような簡単なメニューレシピを随時更新し掲載していく。	健康推進課	
23	食生活改善推進員の活動を支援する。	12番のとおり	12番のとおり	12番のとおり	健康推進課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
青年期・ 壮年期	24	土日の料理教室を開催する。(特に男性向け)	事業名 家事等実践講座「男性とお父さんのための料理講座」 開催日 令和5年9月30日(土) 場所 美和公民館調理室 講師 市管理栄養士 内容 家事(料理)未経験の男性を中心に家事を効率よく行う方法を学び実践してもらった。 参加者 7組14人	事業名 家事等実践講座 開催日 令和6年7月～8月 場所 美和公民館調理室 講師 川合好美 内容 家事(料理)未経験の男性を中心に家事を効率よく行う方法を学び実践してもらった。 定員 12組	人権推進課
	25	民間企業等と連携して健康志向の手軽な食事を提案する。	市内8店舗の飲食店で健康づくり応援店事業を実施し、野菜摂取量増加を促した。協会けんぽ加入の健康宣言事業所(3件)に対し、Wチャレンジ事業の出前講座について情報提供した。	全国健康保険協会愛知支部のWチャレンジでの出前講座を通して、生活習慣病予防に繋がる食事を提案する。	健康推進課
	26	健診結果をわかりやすく説明し、食生活の改善を支援する。	健診受診者へ健診結果の見方や値の持つ意味の説明及び食事のポイントをまとめたリーフレットを配布した。また健診結果について相談があった際には、個別で説明を実施した。 各保健センターで個別栄養相談を随時実施した(2人)	健診受診者へ健診結果の見方や値の持つ意味の説明及び食事のポイントをまとめたリーフレットを配布する。また健診結果について相談があった際には、個別で説明を実施する。 日々の食生活を見つめ直し改善するための個別栄養相談を、継続して実施していく。	保険医療課 健康推進課
高齢期	27	高齢者を対象とした栄養教室を実施する。	事業名 「なかよし昼食会」 開催日 奇数月の第3水曜日 場所 あま市人権ふれあいセンター 内容 食生活改善事業として、高齢者を対象に全員で会話をしながら食事を作り、食べる講座を開催。 参加者 合計40人 はつらつクラブ、ワクワクからだ教室、出前講座、一体的事業、いきいき体操などにおいてリーフレットを配布し、低栄養予防の必要性を周知啓発をした(238人)。活き生き推進隊においてレンジレシピを作成し、健康都市連合などイベントやサロンなどで配布し周知啓発をした(447人)。	事業名 「なかよし昼食会」 開催日 奇数月の第3水曜日 場所 あま市人権ふれあいセンター 内容 食生活改善事業として、高齢者を対象に全員で会話をしながら食事を作り、食べる講座を開催。 定員 15人 各種教室やイベント、サロンなどで周知啓発をする。活き生き推進隊とともに低栄養予防の簡単な食事づくりを啓発する。	人権推進課 健康推進課
	28	介護予防教室、栄養相談等で、バランスのとれた食事等の情報提供を行う。	はつらつクラブ、ワクワクからだ教室、出前講座、一体的事業、いきいき体操など通いの場においてリーフレットを配布し、低栄養予防の必要性を周知啓発をした(238人)。活き生き推進隊においてレンジレシピを作成し、健康都市連合などイベントやサロンなど通いの場で配布し周知啓発をした(447人)。	低栄養を予防するために、出前講座、個別相談等を実施していく。また、高齢福祉課と保険医療課とともに一体的事業、高齢福祉課と介護予防教室を実施していく。	健康推進課
	29	低栄養、生活機能低下の有無を判定する。	5/26 14,724名にシニアいきいきアンケート発送。 8/25 2,915名に再通知。 回答 12,512名(回答率85.0%)	70歳以上の方を対象にシニアいきいきアンケートを実施する。 生活機能低下と判定された方に予防方法について周知する。	高齢福祉課
	30	食生活改善推進員・活き生き推進隊の活動を支援する。	活き生き推進隊とともに、高齢者が火を使わず簡単に調理ができる電子レンジレシピの作成、サロンなど通いの場や健康相談での配布に向け、活き生き推進隊の活動を支援した。(役員会5回・定例会13回・周知12回)	地域の健康づくりを推進していくためにも、継続して実施していく。	健康推進課
	(2) 身体活動と運動				

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
妊娠期・ 乳幼児期	31	妊娠期より、運動の必要性を啓発する。	母子健康手帳交付時やパパママ教室(9回:内オンライン形式4回)参加者に対して他課が主催している妊婦を対象とした運動教室について紹介した。	パパママ教室にて、運動不足が招く妊婦の健康への影響を記載した資料を配布し啓発していく。妊婦を対象とした運動教室について紹介していく。	健康推進課
	32	親子で体を動かす事業を実施する。	七宝・甚目寺総合体育館で、幼児と保護者を対象に親子体操教室(スポーツ教室)を開催し、親子で体を動かす事業を実施した。 ・七宝総合体育館 親子体操教室 (前期)未就学児及びその保護者が対象 全8回 参加人数 15組 (後期)未就学児及びその保護者が対象 全8回 参加人数 12組 ・甚目寺総合体育館 親子体操教室(1) 年中・年長児とその親が対象 全15回 参加人数 4組 親子体操教室(2) 小学1・2年生とその親が対象 全15回 参加人数 16組 親子体操教室(3) 年中・年長児とその親が対象 全15回 参加人数 10組	七宝・甚目寺総合体育館で、幼児と保護者を対象に親子体操教室(スポーツ教室)を開催し、親子で体を動かす事業を実施する。	スポーツ課
			もぐもぐ歯っぴい教室(9回74人)にて親子ふれあい体操を実施した。	8～11か月児対象の親子であそぼう!歯っぴい教室にて、継続して親子ふれあい体操を実施する。	健康推進課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課	
妊娠期・乳幼児期	32	親子で体を動かす事業を実施する。	「おやこであ・そ・ぼ講座」等、親子で体を動かすことを楽しむ講座を実施した。 教室名：「おやこであ・そ・ぼ講座」 日時：①5月11日(木)午前10時30分～11時30分、②6月8日(木)午前10時30分～11時30分 場所：甚目寺公民館 1階 和風会議室 対象：①令和5年度3歳児になる子とその保護者 ②令和5年度2歳児になる子とその保護者 受講者数：①4組8名、②7組14名	「おやこであ・そ・ぼ講座」等、親子で体を動かすことを楽しむ講座を実施する。	生涯学習課	
	33	公園を利用しやすく管理し、活用に努める。	令和5年度も継続して実施した。 児童遊園及びちびっ子広場は、地区町内会・子ども会または業者に委託し管理に努めた。	令和6年度も継続して実施していく。 児童遊園及びちびっ子広場は、地区町内会・子ども会または業者に委託し管理に努める。	都市計画課 子ども福祉課	
	34	運動の大切さを啓発する。	健康推進課の事業(健康マイレージなど)をラジオ体操の集いなどのスポーツ課のイベントで周知するとともに、広報で運動の大切さについて啓発した。	健康推進課の事業(健康マイレージなど)をラジオ体操の集いなどのスポーツ課のイベントで周知するとともに、広報で運動の大切さについて啓発する。	健康マイレージ事業への参加者は増加傾向にあり、健康への意識を高めるための事業として有効であると捉えていることから、今後も継続し、参加者数を増やしていく。“Mr.あーまん”をつかって健康づくり計画の取り組みについて動画配信していく。また、親子であそぼう!歯っぴい教室で保護者の運動も取り入れた親子遊びを実施する。	健康推進課
			健康づくりのきっかけとなる「健康マイレージ」を教室や健診等において周知した結果、1,357名の応募者数があり、健康づくりの取組ができた。 広報あまや市公式ウェブサイトやリーフレットで運動に関して周知し、“Mr.あーまん”による家庭で出来る体操を2種類、動画配信した。 令和2年度に作成した「ずっと We Love あま!体操」の歌に合わせた体操(以下あま体操)を動画配信した。また保育園等年長児に対し防煙教室の中で「あま体操」を普及した。(教室回数:15回 参加園児数:662人)	あま市子育てガイドブックの配布・あま市子育てカレンダーを作成して行く。 赤ちゃん訪問で児童館や支援センター、子育て支援を応援する団体やグループの情報を提供していく。		
	35	親子で楽しめる遊び場や機会、散歩コースの情報を提供する。	あま市子育てガイドブックの配布・あま市子育てカレンダーを作成を行った。 赤ちゃん訪問で児童館や支援センター、子育て支援を応援する団体やグループの情報を提供した。赤ちゃん訪問実施数:359件	あま市子育てガイドブックの配布・あま市子育てカレンダーを作成して行く。 赤ちゃん訪問で児童館や支援センター、子育て支援を応援する団体やグループの情報を提供して行く。	保育課 健康推進課	
	36	日頃から体を動かすことや適度な運動について情報提供をする。	保育園等年長児に対し、防煙教室の中で、友達や家族とともに楽しめる体操として「あま体操」を周知した。(教室回数:15回、参加園児数:662人) 市公式ウェブサイトやリーフレットで親子遊びを推奨した。	防煙教室の中で「あま体操」を周知する。 市公式ウェブサイトやリーフレットで親子遊びを推奨する。	健康推進課	
児童期・思春期	37	遊びやレクリエーションの参加の機会を拡充する。	遊びやレクリエーションの参加の機会(あまスポーツクラブ事業等)で、様々なスポーツを通じて仲間づくりや、感性豊かな子どもを育む講座を実施した。	遊びやレクリエーションの参加の機会(あまスポーツクラブ事業等)で、様々なスポーツを通じて仲間づくりや、感性豊かな子どもを育む講座を実施する。	スポーツ課	
	38	地域でのラジオ体操の普及に協力する。	5/28(日)市役所新庁舎、6/25(日)甚目寺総合体育館野外ステージ、7/23(日)美和小学校運動場でラジオ体操の集いを実施し、地域でのラジオ体操の普及に協力した ・市役所新庁舎 参加人数303人 ・甚目寺総合体育館野外ステージ 参加人数163人 ・美和小学校運動場 参加人数169人	地域(七宝・美和・甚目寺)のラジオ体操の普及に協力する。	スポーツ課	
	39	公園を利用しやすく管理し、活用に努める。	児童遊園及びちびっ子広場は、地区町内会・子ども会または業者に委託し管理に努めた。 都市公園はシルバー人材センター、子ども会または業者に委託し環境等の維持管理に努めた。	児童遊園及びちびっ子広場は、地区町内会・子ども会または業者に委託し管理に努める。 令和6年度も継続して実施していく。	子ども福祉課 都市計画課	
	40	放課後に校庭等を開放する。	放課後に学校開放事業として、市内各小中学校の運動場、体育館などを開放した。	放課後に学校開放事業として、市内各小中学校の運動場、体育館などを開放する。	スポーツ課 学校教育課	
			放課後に校庭等を開放した。 (10校/市内12小学校)	放課後に校庭等を開放する。		
41	体を動かす楽しさを伝え、運動習慣の定着を図る。	七宝・甚目寺総合体育館、美和公民館でふれあいスポーツ(子ども体育教室)や夏休みスポーツ教室(ドッジボール教室・フットサル教室)を開催した ・ふれあいスポーツ(甚目寺総合体育館)年少 児とその親を対象 全8回 参加人数6組 ・フットサル教室(七宝総合体育館)小学生を対象 全5回 参加人数20人 ・ドッジボール教室(美和公民館、甚目寺総合体育館)小学生を対象 全5回参加人数 美和公民館20人 甚目寺総合体育館30人	七宝・甚目寺総合体育館、美和公民館で、ふれあいスポーツ(子ども体育教室)や夏休みスポーツ教室(ドッジボール教室・フットサル教室)を開催し、子どもたちが身体を動かす楽しさ・喜びを感じる運動の習慣化を図る。	スポーツ課		

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
青年期・ 壮年期	42	健康教室等をきっかけにした運動の仲間づくりの支援をする。	七宝総合体育館で、ボクシングエクササイズ教室、肩こり・腰痛ケアストレッチ教室を開催した。 ・ボクシングエクササイズ教室 参加対象者高校生以上の一般 全6回 参加人数23人 ・肩こり・腰痛ケアストレッチ教室 参加者高校生以上の一般 全6回 参加人数26人 1月21日(日)に市民走ろう・歩こう会(木曾三川公園東海広場)を開催し、気軽に楽しめるジョギング(2・4・10km)とウォーキング(2・4km)を実施する予定である。 バランスボール・スポーツ吹き矢(あまスポーツクラブ事業)など、各種スポーツの教室を通じて仲間づくりの場を提供した。	七宝総合体育館で、ボクシングエクササイズ教室、肩こり・腰痛ケアストレッチ教室を開催し、各種スポーツの基本的な運動を実施する。 木曾三川公園東海広場で市民走ろう・歩こう会を開催し、気軽に楽しめるジョギング(2・4・10km)とウォーキング(2・4km)を実施する。 バランスボール・スポーツ吹き矢(あまスポーツクラブ事業)など、各種スポーツの教室を通じて仲間づくりの場を提供する。	スポーツ課
			「ちょっと変わった健康運動講座」を実施した。 日時:5月11日・18日・25日、6月1日・8日・15日(木) 午後2時~3時30分 会場:甚目寺公民館 2階講義室 対象:一般 受講者数:11名	「バランスボールでココロとカラダのメンテナンス講座」として、手軽に運動ができる講座を実施する。 「バランスボールでココロとカラダのメンテナンス講座」 一般向け 「バランスボールでココロとカラダのメンテナンス講座」 ママ向け 会場:七宝公民館 2階講堂 対象:一般、ママ	生涯学習課
			運動不足になりがちな世代に自分に合った運動を見つけるための方法の1つとして「ウォーキングあま(6回 106名)」を実施した。また年間予定表で生涯学習課講座を周知した。 「いきいき体操」については七宝保健センターで実施し、運動する機会を提供した。(107回 894人) “Mr. あーまん”による家庭で気軽にできる運動の動画配信を2回行った。	ウォーキングマップを広く周知し、「ウォーキングあま」を推進していく。また手軽にできる体操として「あま体操」の出前講座、動画配信を実施する。 がん検診や高齢者の健康増進事業等で「いきいき体操」の周知を行う。	健康推進課
	43	若い世代が運動のきっかけづくりとなる参加しやすい教室(託児付教室)を実施する。	親子体操教室など、若い世代が気軽に参加できる講座を実施した。 託児付きの教室や、母と児と一緒に参加できるバランスボール使った運動教室などの市の事業を市公式ウェブサイトや年間予定表などで周知し、運動を習慣化するためのきっかけづくりを行った。	親子体操教室など、若い世代が気軽に参加できる講座を実施していく。 自分自身の体を知ってもらい、運動を習慣化するためのきっかけとなるよう親子体操教室など、若い世代が気軽に参加できる講座教室を、年間予定表や市公式ウェブサイト等で周知していく。	スポーツ課 健康推進課
			年間予定表、広報、市公式ウェブサイトにて運動の教室を周知した。 “Mr. あーまん”による家庭で気軽にできる運動の動画配信を2回行った。	年間予定表、広報、市公式ウェブサイト、公式LINE、メール配信サービスにて運動の教室を周知していく。 “Mr. あーまん”をつかって健康づくり計画の取り組みについて動画配信していく。	健康推進課
	44	運動に関する事業等について、市民にわかりやすく、魅力的な情報を提供する。	健康相談等で、運動の必要な方に対し必要性を伝えるとともに、いきいき体操や、「あま体操」「Mr. あーまん」などの動画配信を周知した。	健康教育、個別相談において、運動の必要性について伝えていく。	健康推進課
	45	健診結果をわかりやすく説明し、運動の必要性を伝える。	各体育施設及び学校開放施設の設備・環境を整え、適宜修繕を行い利用促進を図った。	各体育施設及び学校開放施設の設備・環境を整え、適宜修繕を行うことで利用促進を図る。	スポーツ課
	46	市の運動施設について、利用者増加を図る。	協会けんぽ加入の健康宣言事業所に対し、Wチャレンジ事業の出前講座や市の運動に関する事業を周知した。(3件)	全国健康保険協会愛知支部のWチャレンジでの出前講座や運動に関する事業を、運動を推進する。	健康推進課
	47	民間企業と協力して、運動の推進を図る。	生き生き推進隊が「あま体操」の啓発活動をするための助言や指導を行い、あまつりやあまのわ、サロン会場などでの活動の場を設けた。(12回) 生き生き推進隊主体のミニウォーキングを4月・10月実施した。	地域の健康づくりを推進していくために支援を継続していく。足腰に自信のない高齢者向けに、生き生き推進隊によるミニウォーキングの実施に向け、支援していく。	健康推進課
	48	運動グループ活動や生き生き推進隊の活動を支援する。	5/28(日)に市役所新庁舎、6/25(日)に甚目寺総合体育館野外ステージ、7/23(日)に美和小学校運動場でラジオ体操の集いを開催した。また、10/22(日)に滋賀県余呉湖周辺において市民歩け歩け会を開催した。 市民ラジオ体操の集い ・市役所新庁舎 参加人数303人 ・甚目寺総合体育館野外ステージ 参加人数163人 ・美和小学校運動場 参加人数169人 市民歩け歩け会 参加人数117人	「市民ラジオ体操の集い」を美和中学校運動場、甚目寺総合体育館野外ステージ、七宝北中学校運動場で開催する。「市民歩け歩け会」を開催する。誰もが気軽楽しんで、スポーツに親しみを持ってもらうきっかけづくりとして「モルック教室」を開催する。七宝総合体育館のトレーニング室を利用する市民に、器具の正しい使い方を理解してもらい、体力向上・維持につながるトレーニングの方法を習得してもらうために「体力向上トレーニング教室」を実施する。	スポーツ課
49	市民のニーズに合わせた運動について検討、実施する。				

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課	
高齢期	50	介護予防教室を積極的に啓発し、参加者の増加を図る。	教室名 「筋力アップ体操教室」 開催日 毎月第4木曜日 場所 あま市人権ふれあいセンター 内容 転倒骨折予防事業として、高齢者を対象に体を動かす講座を開催。参加者72人	教室名 「筋力アップ体操教室」 開催日 毎月第4木曜日 場所 あま市人権ふれあいセンター 内容 転倒骨折予防事業として、高齢者を対象に体を動かす講座を開催。定員20人	人権推進課	
			教室名 「高齢者健康体操教室」 開催日 毎月第1・2木曜日 場所 あま市甚目寺老人福祉センター 内容 一般介護予防事業として、高齢者を対象に健康体操講座を開催。参加者18人	教室名 「高齢者健康体操教室」 開催日 毎月第1・2木曜日 場所 あま市甚目寺老人福祉センター 内容 一般介護予防事業として、高齢者を対象に健康体操講座を開催。定員20人		
			高齢者が自らの体力、健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活が送れることを目的に、甚目寺総合体育館において「はつらつ健康教室～シニア運動教室～(スポーツ教室)」を開催した。 ・参加対象者60歳以上の一般 全8回 参加人数10人	高齢者が自らの体力、健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活が送れることを目的に、甚目寺総合体育館において「はつらつ健康教室～シニア運動教室～(スポーツ教室)」を開催する。	スポーツ課	
			運動不足の解消を目的として、「バランスボール運動」や「健康体操」講座を、シルバーカレッジの授業として実施した。 「バランスボールで有酸素運動」 日時：6月27日(火) 午前9時30分～午後0時30分 会場：美和文化会館多目的ホールABC 対象：令和5年度シルバーカレッジ受講生 「運動不足を解消！すぐできる健康体操」 日時：12月6日(水) 午前9時30分～午後0時30分 会場：シルバーカレッジ教室 対象：令和5年度シルバーカレッジ受講生	運動不足の解消を目的として、「バランスボール運動」や「健康体操」講座を、シルバーカレッジの授業として実施する。 「バランスボールで有酸素運動」 日時：6月25日(火) 午前9時30分～午後0時30分 会場：美和文化会館多目的ホールABC 対象：令和6年度シルバーカレッジ受講生 「運動不足を解消！すぐできる健康体操」 日時：12月4日(水) 午前9時30分～午後0時30分 会場：シルバーカレッジ教室 対象：令和6年度シルバーカレッジ受講生	生涯学習課	
			ウォーキング、ラジオ体操、健康体操、モリ森たいそう(筋力アップ体操)、中国健康体操(意身功・太極拳)を行い、高齢者の健康づくりを支援した。 認知症サポーター養成講座実施回数18回(参加者893人) 認知症予防講座実施回数13回(参加者328人)	ウォーキング、ラジオ体操、健康体操、モリ森たいそう(筋力アップ体操)、中国健康体操(意身功・太極拳)を行い、高齢者の健康づくりを支援する。 認知症サポーター養成講座・認知症予防講座を実施し認知症の理解と予防を図る。	子ども福祉課 高齢福祉課	
			高齢者健康増進事業「はつらつクラブ」「ワクワクからだ教室」を年間予定表、広報あま、健康相談等で周知した。	介護予防事業として実施していた「ワクワクからだ教室」を健康増進事業で実施し、「はつらつクラブ」は、高齢福祉課へ業務移管をしたうえで継続して行う。事業の周知方法は、年間予定表及び健康相談等で行っていく。	健康推進課	
			51 高齢者の集まるイベントを活用して介護予防の啓発を行う。	一体的事業(2回46人)や出前講座(11回315人)、サロンなど通いの場でフレイル予防講話を実施した。	健康推進課	
			52 介護予防事業を勧奨し、要介護状態を予防する。	5/26 14,724名にシニアいきいきアンケート発送。 8/25 2,915名に再通知。 回答 12,512名(回答率85.0%) 50番のとおり	70歳以上の方を対象にシニアいきいきアンケートを実施する。 生活機能低下と判定された方に予防方法について周知する。 50番のとおり	高齢福祉課 健康推進課
			53 ロコモティブシンドロームについての知識を普及・啓発する。	出前講座で知識の普及、啓発を実施した。 出前講座：7月18日(火)参加者18人 8月23日(水)参加者27人 12月9日(土)参加者44人 12月11日(月)参加者18人 3月に「Mr.あーまん」による動画配信を予定	出前講座、動画配信等で知識の普及、啓発を実施する。	健康推進課
			54 地域の活動の場と、安全で取り組みやすい環境整備に努める。	体育館、グラウンド、テニスコート(スポーツ施設)の整備及び老朽化した備品等を更新した。(主な整備・備品更新) ・宝小学校グラウンド設置のサッカーゴール(2台)を新品に取替 ・宝小学校ナイター設備用キュービクル撤去工事 ・七宝鷹居グラウンドセーフティパット改修工事	体育館、グラウンド、テニスコート(スポーツ施設)の整備及び老朽化した備品等を更新する。	スポーツ課
55 運動グループ活動や生き生き推進隊の活動を支援する。	48番のとおり	48番のとおり	健康推進課			

(3) こころの健康づくり

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
妊娠期・乳幼児期	56	望ましい生活習慣をつくるための知識を普及・啓発する。	母子健康手帳交付時、パパママ教室、妊産婦訪問、こんにちは赤ちゃん訪問、健康診査等で、望ましい生活習慣として、家族とのコミュニケーションや休養の必要性や知識について啓発した。子育て相談、電話相談等で母親や家族から相談があった際は随時対応した。	母子健康手帳交付時、パパママ教室、妊産婦訪問、こんにちは赤ちゃん訪問、健康診査等で、望ましい生活習慣として、家族とのコミュニケーションや休養の必要性や知識について啓発する。子育て相談、電話相談等で母親や家族から相談があった際は随時対応する。	健康推進課
	57	ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	子育てのストレス解消のため、必要に応じ、赤ちゃん訪問、乳児健診、子育て相談等で、子育て支援センター・子育てコンシェルジュを紹介し、利用を促した。	子育てのストレス解消のため、こんにちは赤ちゃん訪問、乳児健診、子育て相談、親子で遊ぼう！歯っぴい教室等で、子育て支援センター・子育てコンシェルジュを紹介する。	健康推進課
	58	妊娠期から不安や悩みを抱え込まないよう、切れ目のない相談体制を充実させる。	乳児健康診査、ふたごちゃん・みつごちゃん交流会、パパママ教室、子育て相談において子育てコンシェルジュについて周知し、必要な保護者へは関係機関と連携し支援した。また、主に産後の母に対し不安や悩みを抱え込まないように子育てコンシェルジュによる窓口や電話での相談を行った。	乳児健康診査、ふたごちゃん・みつごちゃん交流会、パパママ教室、子育て相談において子育てコンシェルジュについて周知し、必要な保護者へは関係機関と連携し支援する。また、主に産後の母に対し不安や悩みを抱え込まないように子育てコンシェルジュによる窓口や電話での相談を行う。	保育課
			母子健康手帳交付時から丁寧に面接、スクリーニングを行い(422人)、子育てコンシェルジュや子ども福祉課と定期的(月1回ほど)に要支援検討会(8回)にて方針決めた。コンシェルジュに乳児健診や子育て相談、パパママ教室に参加してもらい、つながる機会を設けた。母が妊娠期から不安や悩みを抱え込まないよう母子保健コーディネーターや地区担当保健師が電話や訪問で相談を行った。	母子健康手帳交付時の面接によりスクリーニングを行い、保育課(子育てコンシェルジュ)や子ども福祉課(子ども家庭総合支援拠点担当)と定期的(月1回ほど)に開催する要支援検討会で方針決めていく。また、すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、面談やアンケートにより相談に応じ切れ目のない支援を行う。子育てコンシェルジュに乳児健診、子育て相談及びパパママ教室に参加してもらい、今後の子育て相談先として子育てコンシェルジュにつながる機会を設ける。母が妊娠期から不安や悩みを抱え込まないよう母子保健コーディネーターや地区担当保健師が電話や訪問で相談を行う。	健康推進課
	59	子どもの健やかなこころと体を育てるための知識を普及・啓発する。	もぐもぐ歯っぴい教室において理学療法士考案の親子のコミュニケーションが広がる親子遊びを実施した(9回 74人)。来所が難しい方にも参加しやすいようオンライン配信(7、10、12月)した。	親子であそぼう！歯っぴい教室において親子のコミュニケーションが広がる親子遊びを継続実施していく。また、乳幼児健診や子育て相談等において、子どもとの関わり方の助言やリーフレットの配付をする。	健康推進課
	60	母親が育児の不安や負担を抱え込まないよう、母親同士の交流を推進する。	「栄養満点ふりかけと野菜たっぷりお味噌汁講座」等、親子参加型の講座を実施した。 日時：5月8日(月)午前10時～正午 会場：美和公民館 1階調理室 対象：1～2歳児1名とその家族1名 受講者数：7組14名	親子参加型の講座を実施する。 日時：5月8日(水)午前10時～正午 会場：美和公民館 1階調理室 対象：幼児とその家族1名	生涯学習課
			ふたごちゃんみつごちゃん交流会を2回(6・10月)開催し、不安軽減・情報交換のために母親同士の交流会を設けた。	育児不安を一人で抱え込まないように、同じ悩みを持つ母親同士の交流を進めるため、「パパママ教室」「離乳食教室」「親子で遊ぼう！歯っぴい教室」での交流会や「ふたごちゃんみつごちゃん交流会」を開催していく。また、子育てアプリにて情報発信することで、子育て中の親子が孤立しないよう支援する。	健康推進課
61	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	母子健康手帳交付時(422人)やパパママ教室(一般編：9回122人)、こんにちは赤ちゃん訪問(359件)、健診等において、育児や病期に対する不安な気持ちを傾聴し、必要に応じて相談機関を紹介、周知した。	妊娠期や育児の不安や病気の不安を1人で抱え込まないよう、パパママ教室、訪問、健診の場等で必要に応じ相談機関を周知していく。	健康推進課	
児童期・思春期	62	こころの健康・休養について教育の充実を図る。	小学5年生保健「心の健康」、中学1年生保健「心と体のかかわり」で学習した。	小学5年生保健「心の健康」、中学1年生保健「心と体のかかわり」で学習する。	学校教育課
	63	親子の絆を深める家庭環境づくりを支援する。	中学家庭科「家族と家庭と地域」、道徳「家族愛」で学習した。	中学家庭科「家族と家庭と地域」、道徳「家族愛」で学習する。	学校教育課
	64	質のよい睡眠や休養を取るための、正しい知識の普及・啓発を図る。	中学2年保健「休養・睡眠と健康」で学習した。	中学2年保健「休養・睡眠と健康」で学習する。	学校教育課
	65	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	窓口名称：あま市子ども・若者相談窓口 開設日：月曜日から金曜日(祝休日・年末年始を除く) 開設時間：午前8時30分から午後5時15分まで 開設場所：あま市役所 社会福祉課 対象：あま市に居住する概ね15歳から39歳までの子ども・若者及びその家族 相談状況：相談人数7名 延べ相談回数18回 5月末に「あま市教育相談」のお知らせを配布した。 市内小中学校養護教諭により、作成した媒体等を利用して、市内全中学校・小学校でSOS出し方教育を実施済み又は見込みであることを確認。 統一したSOSの出し方の例として、12月に「相談窓口の活用」(愛知県教育委員会作成)を全校児童生徒に配付し、相談窓口を広く周知した。	窓口名称：あま市子ども・若者相談窓口 開設日：月曜日から金曜日(祝休日・年末年始を除く) 開設時間：午前8時30分から午後5時15分まで 開設場所：あま市役所 社会福祉課 対象：あま市に居住する概ね15歳から39歳までの子ども・若者及びその家族 5月末に「あま市教育相談」のお知らせを配布する。 統一した内容のSOSの出し方教育を全校で実施していく。 「相談窓口の活用」(愛知県教育委員会作成)を全校児童生徒に配付し、相談窓口を広く周知する。	社会福祉課
青年期・壮年期	66	こころの健康を保つための知識を普及・啓発する。	9月の自殺予防啓発週間に街頭啓発(綿棒&絆創膏300個)を実施した。10月「あまのわ」において、断酒会の活動紹介とアルコールパッチテストを実施した(235件)。3月の自殺対策強化月間に街頭啓発予定。	自殺予防週間(9月10日から16日まで)、自殺強化月間(3月)に、働く世代や学生をターゲットに通勤・通学時間帯に啓発を実施していく。	健康推進課
	67	健康づくりのための睡眠について普及・啓発する。	7月「こころの不調」8月「うつ病」9月「うつ病と睡眠」10月「うつ病とアルコール」について市公式ウェブサイトに掲載した。	うつ予防に努め、睡眠の必要性について周知する。「うつ病スクリーニング質問票」「こころの健康質問票」を市公式ウェブサイト等に掲載する。	健康推進課
	68	ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	Mr. あーまんによる「あま体操椅子バージョン」「親子体操」の動画配信をし、市公式LINE及びメール配信サービスを利用し周知した。	運動不足になりがちな方のために、体を動かすことによりリフレッシュを図るきっかけを作り、自分なりのストレス解消法を見つける手助けとして、Mr. あーまんによる手軽な運動の動画配信を継続していく。	健康推進課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
青年期・壮年期	69	不安や悩みを抱え込まないよう、相談体制を充実させる。	民生児童委員会に6月、7月、8月と参加した。9月に新入職員19名、10月に介護事業所関係9人にゲートキーパー養成講座を開催した。2月に七宝地区民生委員に養成講座を実施する。次年度以降のフォローアップ研修に向けて、「ゲートキーパー養成講座アンケート」を講座終了後に実施した。「あま安心ダイヤル」を継続して開設した。いつでも気軽に相談できるよう、臨床心理士によるこころの相談室を随時開催を継続する。精神科医による相談会を継続して実施した。また、こころの相談室(3人)、精神相談会(3人)にて個別相談を実施した。	民生児童委員が地域でのゲートキーパーとして、相談窓口となるよう定例会に参加し、顔の見える関係づくりを継続していく。民生児童委員にゲートキーパーのフォローアップ研修を行う。あま市全職員に対してeラーニングで養成講座を行う。また新入職員にも養成講座を開催する。ゲートキーパー養成講座24時間電話相談の「あま安心ダイヤル」を継続していく。いつでも気軽に相談できるよう、臨床心理士によるこころの相談室を随時開催を継続する。精神科医による相談会を継続して実施していく。	健康推進課
	70	生きがいや趣味を持つこと、スポーツをすることなど様々なストレス解消法に関する情報提供を行う。	広報あま、年間予定表や市公式ウェブサイトにおいて、ストレス解消法につながる運動教室等を継続して周知した。Mr. あーまんによる動画配信については来年度から実施していく。	広報あま、年間予定表や市公式ウェブサイトにおいて、ストレス解消法につながる運動教室等を継続して周知する。Mr. あーまんによる動画配信を実施していく。	健康推進課
	71	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	相談窓口の周知啓発のため反射バンド480個をあまつりで配布した。「困った時の相談窓口」のリーフレットを関係各課窓口300枚、市内医療機関40箇所(200枚)、市内調剤薬局30箇所(100枚)に設置した。月1回、公式LINE、メール配信サービスにより周知した。	市内調剤薬局や民生児童委員との連携により、相談体制の強化を実施する。相談窓口一覧表を全戸配布し自殺に関する正しい知識、相談窓口等の普及啓発を行っていく。	健康推進課
高齢期	72	こころの健康を保つための知識を普及・啓発する。	高齢者総合相談窓口として実施した。	高齢者総合相談窓口として実施する。	高齢福祉課
	73	健康づくりのための睡眠について普及・啓発する	一体的事業、出前講座のフレイル予防教室などでリーフレットを配布し講話内容に含め説明を行った。リーフレット配布数：221部	一体的事業「笑って元気スクール」でリーフレット配布説明を継続する。健康増進事業「ワクワクからだ教室」でリーフレット配布を継続する。「うつ病スクリーニング質問票」「こころの健康質問票」を市公式ウェブサイト等に掲載する。	健康推進課
	74	ストレスを解消・リフレッシュするための支援を行う。	介護者のつどい実施回数18回 ふれあいカフェ実施回数108回	介護者のつどい、ふれあい(認知症)カフェを実施する。	高齢福祉課
			中国健康体操(意身功・太極拳)、お楽しみ会(脳トレなどのゲーム、お話し会)を実施した。	中国健康体操(意身功・太極拳)、お楽しみ会(脳トレなどのゲーム、お話し会)を実施する。	子ども福祉課
	75	不安や悩みを抱え込まないよう、相談体制を充実させる。	69番のとおり	69番のとおり	健康推進課
	76	生きがいや趣味を持つこと、スポーツをすることなど様々なストレス解消法に関する情報提供を行う。	老人クラブ活動やシルバー人材センターでの活動を通じて高齢者に対する生きがいづくりの支援を行った。	老人クラブ活動やシルバー人材センターでの活動を通じて高齢者に対する生きがいづくりの支援を行う。	高齢福祉課
	77	こころの悩みや病気に関する相談機関を周知する。	各種教室や通いの場、市イベント等で相談窓口リーフレット配布を継続。身近な相談機関や心の健康を保つコツ、うつ病のサインなどについて、市公式ウェブサイトや公式LINE等で広く周知啓発した。	各種教室や通いの場でのリーフレット配布を継続。身近な相談機関や心の健康を保つコツ、うつ病のサインなどについて、分かりやすく周知していく。	健康推進課
	78	地域とのつながりが持てるよう支援する。	相談者に対して介護予防教室、サロン等の情報提供を行った。老人クラブ活動の支援を実施した。地域のサロンの紹介や高齢者健康増進事業の周知、参加勧奨とともに、サロン等に向いて地域とのつながりの必要性を説明した。	相談者に対して介護予防教室、サロン等の情報提供を行う。老人クラブ活動の支援を実施する。ひきこもり予防として、地域のサロンの紹介や介護予防教室等の周知、参加勧奨していく。	高齢福祉課
79	シルバーカレッジで生涯学習を行いながら仲間づくりの支援を行う。	高齢者に学習と交流の場を提供することを目的として、シルバーカレッジを実施した。開催：6月3日(土)から令和6年1月27日(土)まで(全21回) 会場：シルバーカレッジ教室ほか 対象：あま市在住又は在勤の60歳以上の方 受講者数：33名	高齢者に学習と交流の場を提供することを目的として、シルバーカレッジを実施する。開催：6月8日(土)から令和7年1月25日(土)まで(全21回) 会場：シルバーカレッジ教室ほか 対象：あま市在住又は在勤の60歳以上の方	生涯学習課	

(4) たばこ

妊娠期・乳幼児期	80	母子健康手帳交付時の喫煙状況を確認し、喫煙している妊婦とその家族に対し、個別に指導・支援する。	母子健康手帳交付時に喫煙者に対し、禁煙、受動喫煙についての説明を行い、実現可能な対処法を提案・共有した。また産後に再喫煙した者に対し、その原因、対処方法等を検証するために、こんにちは赤ちゃん訪問、乳児健診において喫煙率の経過を追った。また、受動喫煙について指導した。	母子健康手帳交付時に喫煙者に対し禁煙、受動喫煙についての説明を実施し、実現可能な対処法を提案・共有する。また産後の状況をこんにちは赤ちゃん訪問、乳児健診において把握し、禁煙、受動喫煙についての指導を行う。	健康推進課
	81	マタニティ教室等で、たばこが妊婦・胎児に与える影響を、わかりやすく啓発する。	パパママ教室にてたばこについての内容を含む資料を配布(9回122人：内オンライン形式4回)し、助産師による講話を行った。	パパママ教室にて妊婦本人の喫煙のみではなく、受動喫煙の影響についてもリーフレットを配布し啓発していく。	健康推進課
	82	家庭訪問、乳幼児健診等の機会にたばこの副流煙の影響について知識を普及する。	こんにちは赤ちゃん訪問にて受動喫煙防止のリーフレットを配布(359人)し、保護者の喫煙が及ぼす影響について説明した。妊娠中に喫煙していた産婦については、吸ってしまう理由や、止める方法を共有した。防煙教室を市内保育園(9園)、幼稚園(5園)及びこども園(1園)の年長児(計662人)を対象に実施した。	こんにちは赤ちゃん訪問にて受動喫煙防止のリーフレットを配布する。また、妊娠中に喫煙しており、乳幼児健診にて禁煙希望者には禁煙外来等の情報提供を行い、禁煙をサポートしていく。	健康推進課
	83	禁煙外来を周知する。	乳幼児健診にて保護者の喫煙に関する注意喚起を行い、禁煙を希望する保護者に情報提供した(11人)。	防煙教室を市内保育園、幼稚園及びこども園在籍児に対して実施していく。	健康推進課
	84	公共施設での分煙・禁煙を推進する。	公共施設等に受動喫煙防止ポスターを掲示した。	市公式ウェブサイト情報(禁煙外来、禁煙相談)と禁煙支援の資料を更新する。引き続き乳幼児健診にて保護者の喫煙に関する注意喚起を行い、禁煙を希望する保護者に情報提供していく。	健康推進課

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
児童期・思春期	85	学校は、児童生徒とその保護者に対して禁煙教育を行う。	小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育(保健)「健康な生活と疾病の予防」で学習した。	小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育(保健)「健康な生活と疾病の予防」で学習する。	学校教育課
	86	目にする機会が多い場所へポスターなどを掲示し、啓発する。	愛知県教育委員会から配布されるポスターを各学校へ配布した。	愛知県教育委員会から配布されるポスターを各学校へ配布する。	学校教育課
	87	子どもに対し、たばこの害を周知する。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習する。中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習した。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習する。中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習する。	学校教育課
青年期・壮年期・高齢期	88	禁煙成功者の体験談を広報に掲載する。	市公式ウェブサイトや5月号広報で受動喫煙について掲載。禁煙希望者向けの禁煙支援の資料を作成し、乳幼児健診等で喫煙者に対し配布した。(11人)	禁煙成功者による体験談を得ることができれば、今後掲載していく。	健康推進課
	89	世界禁煙デーに合わせて禁煙週間を周知し、推進する。	市公式ウェブサイトや5月号広報で受動喫煙について掲載。禁煙希望者向けの禁煙支援の資料を作成し、乳幼児健診等で喫煙者に対し配布した。(11人)	市公式ウェブサイトや5月号広報で受動喫煙について掲載。禁煙希望者向けの禁煙支援の資料を作成し、乳幼児健診等で喫煙者に対し配布していく。	健康推進課
	90	たばこの害と疾病との関係についての教育の実施及びポスターを掲示する。	公共施設等に受動喫煙防止ポスターを掲示した。また市内の健康宣言事業所において、たばこの害について説明し、リーフレット(21人)配布を実施した。肺がん検診来所者で喫煙者(81人)に禁煙指導を実施した。	たばこの害と疾病との関係についての教育の実施及びポスターを掲示する。	健康推進課
	91	喫煙が及ぼす影響やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)について周知する。	肺がん検診受診者の喫煙者に対し問診時に継続してCOPDのリーフレットを配布し、影響について啓発した(110人)。また禁煙を考えている方に禁煙外来リーフレットを配布した(81人)	喫煙者が肺がん検診を受診する際の問診時にCOPDのリーフレットを配布し喫煙が及ぼす影響について啓発していく。	健康推進課
	92	禁煙希望者へ、禁煙治療ができる医療機関等の情報を提供する。	市公式ウェブサイトや広報、公共施設等にポスターを掲載し、禁煙相談を実施していることを周知した。また、乳幼児健診や肺がん検診にて喫煙者で禁煙希望者がいれば医療機関等の情報提供をした。(乳幼児健診11人、肺がん検診81人)	市公式ウェブサイトや広報で禁煙相談を実施していることを周知する。乳幼児健診や肺がん検診にて喫煙者で禁煙希望者がいれば医療機関等の情報提供を行っていく。	健康推進課
	93	たばこに関する講演会を実施する。	がん検診受診者の喫煙率が下がっている現状があるため、肺がん検診受診者の喫煙者に対し問診時に継続してリーフレットを配布し影響について啓発、禁煙を考えている方に禁煙外来リーフレットを配付する等個別指導を実施した。(81人)	不特定の方を集める講演会では、喫煙が及ぼす影響を真に伝えたい方の参加が見込めないため、がん検診受診者への個別指導や市民から求められる出前講座に注力していく。	健康推進課

(5) アルコール

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
乳妊幼娠児期	94	母子健康手帳交付時の飲酒状況を確認し、飲酒している妊婦とその家族に対し、個別に支援する。	母子健康手帳交付時(422人)に個別面接を実施し、母子健康手帳、副読本等をもとに、飲酒による胎児への影響の正しい知識を周知し、飲酒をやめる方法について一緒に考えた。	母子健康手帳交付時に個別面談を実施し、パンフレット等を使って、アルコールの胎児への影響について正しい知識を周知していく。	健康推進課
	95	マタニティ教室等で飲酒が妊婦・胎児に与える影響を、わかりやすく周知する。	パパママ教室に参加した133人に対して飲酒についての内容を含む資料を配布し、助産師による講話を行った。	パパママ教室等で飲酒が妊婦・胎児に与える影響について、資料を配布しわかりやすく周知していく。	健康推進課
児童期・思春期	96	未成年者に飲酒が及ぼす身体への影響について周知する。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習する。中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習した。	小学6年生保健「病気の予防」の中でたばこの害と健康について学習する。中学3年生保健「喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ」で学習する。	学校教育課
壮青年期・高齢期	97	適正飲酒量を周知する。	1歳6か月児健診の保護者に対し適正飲酒量を周知(500人)10月に開催した「あまのわ」で、アルコールパッチテスト(235人)を実施し、適正飲酒量を周知した。広報11月号で適正飲酒、アルコール依存症について掲載した。1月「はたちの式」において、適正飲酒量を周知のためのリーフレットを配付予定。	1歳6か月児健診の保護者、はたちの式で適正飲酒の啓発をする。広報において適正飲酒についての情報掲載し、アルコールに関する正しい知識の普及していく。	健康推進課
	98	多量の飲酒や生活習慣病のリスクを高める飲酒が身体へ及ぼす影響についての正しい知識の普及・啓発をする。	広報11月号にて、多量の飲酒や生活習慣病のリスクを高める飲酒が身体へ及ぼす影響について、アルコール依存症についての正しい知識を啓発した。	ストレスの発散が過度なアルコール摂取に向かないように心身に与える影響を中心に継続して周知していく。また必要に応じて断酒会を紹介していく。	健康推進課

(6) 健康管理

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
妊 娠 期 ・ 乳 幼 児 期	99	妊産婦・乳幼児健康診査の受診を勧奨する。	母子健康手帳交付(422人)時に、妊婦健診の必要性を説明した。こんにちは赤ちゃん訪問時に乳幼児健診について説明し、対象者に個別で通知している。未受診者(10人)には、電話や不在票で個別勧奨をしており、必要時、訪問や面談にて対応した。	母子健康手帳交付時に、妊婦健診の必要性を説明する。乳幼児健診については、こんにちは赤ちゃん訪問時に説明し、対象者に個別通知を行う。欠席者には、地区担当より電話や訪問、面談にて対応する。	健康推進課
	100	健康診査、相談、訪問指導など母子保健事業の効果的実施と利用促進を図る。	あま市母子保健事業年間予定表の全戸配布、市公式ウェブサイトにて啓発を行った。パパママ教室、こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児健診、子育て相談、個別相談等で心身の発達確認の必要性を伝え、必要時、継続フォロー、専門機関に繋げた。乳幼児健診の未受診者(10人)の全数把握を行い、個別で勧奨、対応した。	あま市母子保健事業年間予定表の全戸配布、市公式ウェブサイトにて啓発する。パパママ教室、こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児健診、子育て相談、個別相談等で心身の発達確認の必要性を伝え、必要時、継続フォローや専門機関に繋げる。健診未受診者には、個別で勧奨、対応を行っていく。	健康推進課
	101	定期予防接種の未接種者の解消を図る。	こんにちは赤ちゃん訪問(359人)、乳幼児健診、電話相談、窓口相談、個別で接種勧奨を行った。日本脳炎1期末接種者424人と麻疹及び風しんワクチン2期末接種者184人には、個別で通知を行い勧奨した。	こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児健診、個別相談、窓口相談、個別等で接種勧奨を行った。接種期間が空く日本脳炎1期、麻疹及び風しんワクチン2期の未接種者には、個別通知勧奨を行っていく。	健康推進課
	102	かかりつけ医を持つよう啓発する。	こんにちは赤ちゃん訪問、子育て相談、乳幼児健診、個別相談等でかかりつけ医の必要性について説明を行った。	こんにちは赤ちゃん訪問、子育て相談、乳幼児健診、個別相談等でかかりつけ医の必要性を説明し、受診行動がとれるように啓発していく。	健康推進課
	103	妊娠期からの切れ目ない子育て支援を通して、健康管理を支援する。	母子健康手帳交付時に面談にて情報収集を行い、スクリーニングを実施(422人)。要支援妊婦には適宜パパママ教室、電話相談、面談、訪問を勧奨し、保健センターとの関係づくりを行う。子育てに対する不安やストレスを軽減するため、個別支援計画に基づき切れ目ない支援を継続した。	母子健康手帳交付時に面談にて情報収集を行い、スクリーニングを実施。要支援妊婦には適宜パパママ教室、電話相談、面談、訪問を勧奨し、保健センターとの関係づくりを行う。子育てに対する不安やストレスを軽減するため、個別支援計画に基づき切れ目ない支援を継続していく。	健康推進課
	104	医療ネグレクト児について、関係機関と連携して対応する。	市内医療機関・海部児童・障害者相談センター、あま児童発達相談センターなどの関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会等で協議し、対応した。 乳幼児健診や訪問等にて医療ネグレクト児の有無を確認し、必要に応じて関係機関と連携し、適宜訪問、面接にて医療に繋がるように支援した。	医療ネグレクト児が発見された場合は、関係機関と同道で面接や訪問を行うことで、連携した指導を行う。 継続して、乳幼児健診や訪問等にて医療ネグレクト児の有無を確認し、必要に応じて関係機関と連携し、適宜訪問、面接にて医療に繋がるように支援していく。	子ども福祉課 健康推進課
児 童 期 ・ 思 春 期	105	自分の健康を自分で守ることができるよう、適正体重を周知するなど、正しい知識を学ぶ機会を提供する。	小学校：肥満傾向の子について個別に対応した。 中学校：身体測定時にBMIをつかって適正体重を学ばせた。	小学校：肥満傾向の子について個別に対応する。 中学校：身体測定時にBMIをつかって適正体重を学ばせる。	学校教育課
	106	定期予防接種の未接種者の解消を図る。	日本脳炎2期末接種者869人については6月に、2種混合ワクチン未接種者391人については12月に個別で接種勧奨ハガキを郵送した。	MR2期、日本脳炎1期、2種混合ワクチンの未接種者には、個別で接種勧奨を行う。また、子育てアプリの予防接種スケジュールの自動調整機能を周知する。	健康推進課
	107	医療ネグレクト児について、関係機関と連携して対応する。	市内医療機関・海部児童・障害者相談センター、あま児童発達相談センターなどの関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会等で協議し、対応した。 乳幼児健診や訪問等にて医療ネグレクト児の有無を確認し、必要に応じて関係機関と連携し、適宜訪問、面接にて医療に繋がるように支援した。	市内医療機関・海部児童・障害者相談センター、あま児童発達相談センターなどの関係機関と連携し、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会等で協議し、対応する。 乳幼児健診や訪問等にて医療ネグレクト児の有無を確認し、必要に応じて関係機関と連携し、適宜訪問、面接にて医療に繋がるように支援する。	子ども福祉課 学校教育課 健康推進課
	108	がん予防を含む、生活習慣病の健康教育を行う。	小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育(保健)「健康な生活と疾病の予防」で学習した。 栄養教諭が各学校へ出向き、タブレット端末を使用して生活習慣等についての指導を行った。 中学校3年生を対象に、栄養と生活習慣病についての動画を各校に配布した。	小学6年生保健「病気の予防」、中学3年生保健体育(保健)「健康な生活と疾病の予防」で学習する。 栄養教諭が各学校へ出向き、タブレット端末を使用して生活習慣等についての指導を行う。中学校3年生を対象に、栄養と生活習慣病についての動画を各校に配布する。	学校教育課 学校教育課
青 年 期 ・ 壮 年 期 ・ 高 齢 期	109	健康教育、イベント、広報等を通じて、各種健(検)診の目的・重要性等をさらに市民へ周知する。	4月に年間予定表、5月にがん検診ガイドを各戸配布、がん検診受診券・無料クーポン券に令和3年度のがん発見率を記載して、5月に個別通知し、受診勧奨を行った。また、健康相談では、生き生き推進隊によるがん検診の啓発を実施(65人)。10月のあまのわではがん予防リーフレットを220部配布し啓発した。	4月に年間予定表、5月にがん検診ガイドを各戸配布、がん検診受診券・無料クーポン券に令和4年度のがん発見率を記載して、5月に個別通知し、受診勧奨していく。	健康推進課
	110	がん検診受診方法を、広報・ポスターなどを用いてわかりやすく周知し、受診の啓発をする。	がん検診受診券を個別通知し受診勧奨を行った。1歳6か月児健診対象(150人)の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、啓発した。3保健センター・医療機関・市内郵便局にがん検診ポスターを掲示した。乳がん検診受診者に乳がん検診啓発リーフレットを配布した。	がん検診受診券を個別通知し受診勧奨を行う。1歳6か月児健診対象の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、啓発する。3保健センター・医療機関・市内郵便局にがん検診ポスターを掲示する。乳がん検診受診者に乳がん検診啓発リーフレットを配布する。はたちの式で子宮がん検診受診勧奨していく。	健康推進課
	111	個別通知を実施し、若い年齢層の受診者の増加を図る。	乳・子宮がん検診無料クーポン未受診者883人に対し12月に勧奨通知を送付し、再度受診勧奨を行った。	12月に乳がん・子宮がんクーポン検診未受診者への勧奨ハガキを送付していく。	健康推進課
	112	早期発見・早期治療の重要性について、啓発する。	8月号広報にてがん検診の必要性を周知した。 1歳6か月児健診対象(150人)の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、啓発した。	8月号広報にてがん検診の必要性を周知する。 2月に未受診者に対し検診勧奨ハガキを送付する。 1歳6か月児健診対象の保護者に子宮頸がん啓発リーフレットを配布し、啓発していく。	健康推進課

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
青年期・ 壮年期・ 高齢期	113	望ましい生活習慣(栄養・運動)の実践を支援する。	運動教室「はつらつクラブ(54回766人)」「ワクワクからだ教室(27回291人)」「いきいき体操(145回894人)」、一体的事業フレイル予防教室(2回46人)を実施した。	運動教室「ワクワクからだ教室」「いきいき体操」、一体的事業フレイル予防教室を実施していく。	健康推進課
	114	精密検査対象者への受診勧奨を強化する。	各医療機関と連携し、要精密検査者の精密検査未受診者に対して、検診の目的や必要性を理解し受診につながるよう、1月に再通知や個別勧奨を実施した。	各医療機関と連携し、要精密検査者の精密検査未受診者に対して、検診の目的や必要性を理解し受診につながるよう、2月に再通知や個別勧奨していく。	健康推進課
	115	がんに関する講演会を実施する。	がんの早期発見、早期治療のためにがん検診の必要性を周知啓発する手段として、がんに関する講演会を実施することよりも、広報、市公式ウェブサイト、市公式ライン、及びメール配信サービスを利用した情報発信が効果的であると捉え、広報では8月号でがん検診の必要性を周知し、市公式ウェブサイト、市公式LINE及びメール配信サービスでは、随時がん検診の必要性を周知した。	講演会という形式に捉われないこと、個人に対する情報発信として、広報・年間予定表・勧奨通知等の表記を工夫して、がん検診の必要性を周知していく。また、その他のがんに関する情報についても、随時、市公式ウェブサイト、市公式LINE及びメール配信サービスにて周知していく。	健康推進課
	116	がん予防を含む生活習慣病の健康教育を行う。	がん予防を含む生活習慣病についての個別相談を随時実施する。がん検診(禁煙指導81人)、出前講座(11回315人)等においても、生活習慣病予防における個別指導や健康教育を行った。	がん予防を含む生活習慣病についての個別相談を随時実施する。がん検診、出前講座等においても、生活習慣病予防における個別指導や健康教育を行っていく。	健康推進課
	117	適正体重を周知する。	広報7月号で適正体重について周知した。活き生き推進隊とともに、健康相談において体組成計を使用し、適正体重について周知した。(7回 65人)	健康相談において体組成計を使用し、適正体重を周知していく。	健康推進課
	118	生活習慣病予防のために20歳代、30歳代からの生活習慣改善に向けた情報提供、健康教育、健(検)診の勧奨等に一層取り組む。	乳幼児健診や30・35歳健診等において、生活習慣改善に向けた情報提供や個別指導を行った。	乳幼児健診や30・35歳健診等において、生活習慣改善に向けた情報提供や個別指導を行っていく。	健康推進課
	119	職域との積極的な連携を図り、健康教育及び健(検)診受診への啓発を充実させる。	健康宣言事業所に対し、健康マイレージ含めたWチャレンジ事業について啓発した。(3件)	健康宣言事業所に対し、健康マイレージを含めたWチャレンジ事業や出前講座等の案内を個別通知し、希望する健康宣言事業所に健康情報を啓発していく。	健康推進課
	120	医科、歯科、薬科など関係機関との連携を強化する。	2月に保健対策推進協議会を開催し、情報提供し、連携を強化していく。	保健対策推進協議会を開催し、医科、歯科、薬科など関係機関との連携を強化していく。	健康推進課
	121	特定健康診査やがん検診を受けやすい体制づくりに取り組む。	海部医師会・津島市医師会の指定医療機関において、がん検診と特定健診を一体的に実施し、受診しやすい体制づくりに努めた。3センターで集団検診を実施した。働き世代も受けやすいようにウェブ申込みの期限を延長し、週休日にも検診実施した。	海部医師会・津島市医師会の指定医療機関において、がん検診と特定健診を一体的に実施し、受診しやすい体制づくりに努める。3センターで集団検診を実施した。働き世代も受けやすいようにウェブ申込みできる内容を増やし、週休日にも検診実施していく。	保険医療課 健康推進課
	122	特定健康診査やがん検診の未受診者の把握に努め、受診勧奨を強化する。	広報による受診勧奨の周知啓発に加え、経年の健診結果にレセプトデータを加えた分析を行い、被保険者の特性に応じた勧奨通知の送り分けによる受診勧奨を行った。(受診勧奨通知:4,763通) 乳・子宮がん検診無料クーポン未受診者883人に対し12月に勧奨通知を送付し、再度受診勧奨を行った。	広報による受診勧奨の周知啓発に加え、経年の健診結果にレセプトデータを加えた分析を行い、被保険者の特性に応じた勧奨通知の送り分けによる受診勧奨を行う。 乳・子宮がん検診無料クーポン未受診者に対し勧奨通知を送付し、再度受診勧奨していく。	保険医療課 健康推進課
	123	活き生き推進隊の活動を支援する。	役員会(5回)、定例会(13回)を定期的に開催し、健康づくりを市民へ推進していくための方法等話し合いを実施。また7月の健康都市連合大会発表、8月あまつり、10月あまのわにおいて、活動支援を行った。	市のイベントや地域のサロン等において、活き生き推進隊が主体的に健康づくりを市民へ推進していくために、引き続き団体活動支援を行っていく。	健康推進課
	124	お薬手帳の利用を勧奨する。	国民健康保険加入者へ適正受診についてのチラシを配布及び窓口で適正受診についてのリーフレットを設置し、お薬手帳の活用を啓発した。また、重複服薬者に対し通知により、お薬手帳の活用について指導を実施した。	国民健康保険加入者へ適正受診についてのチラシを配布及び窓口で適正受診についてのリーフレットを設置し、お薬手帳の活用を啓発する。また、重複服薬者に対し通知により、お薬手帳の活用について指導を実施する。	保険医療課

2 重症化予防

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況（12月末現在）	令和6年度実施計画	関係課
重症化 予防	125	有所見者への対策としては、重症化につながる高血圧症及び糖尿病について、セミナーの開催や訪問による医療機関への受診勧奨を実施し、適切な治療につなげて、脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の重症化予防を図る。	「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」に関する値が受診勧奨レベルで医療機関受診が確認できない475人を対象に、医療機関受診勧奨を実施した。また、特定健診の結果、糖尿病に関する値（HbA1c）が有所見判定値以上の方に糖尿病教室「知れば変えられる血糖値」、「糖尿病にならないための教室」を1月に開催予定。	「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」に関する値が受診勧奨レベルで医療機関受診が確認できない方を対象に、医療機関受診勧奨を実施する。また、特定健診の結果、糖尿病に関する値（HbA1c）が有所見判定値以上の方に糖尿病教室「知れば変えられる血糖値」、「糖尿病にならないための教室」を実施する。	保険医療課
	126	継続したがん検診の必要性について啓発して、ライフスタイルに合わせた受診しやすい体制づくりを進める。	集団検診・個別検診実施に向け、全てのがん検診対象者に受診券を送付し、がん検診ガイド・市公式ウェブサイトにて周知をした。また集団検診では、インターネット・電話で予約できるように継続した。	集団検診・個別検診実施に向け、全てのがん検診対象者に受診券を送付し、がん検診ガイド・市公式ウェブサイトにて周知をする。また集団検診では、引き続きインターネット・電話で予約できるように継続していく。	健康推進課
	127	要精密検査者には、医療受診の勧奨に努めて、早期発見につなげる。	要精密検査者の精検受診状況を各医療機関へ調査し、未受診者に対して検診の目的や必要性を理解し受診につながるよう勧奨した。	個別受診者は要精密検査者の精検受診状況を各医療機関へ調査し、1月に未受診者に対して検診の目的や必要性を理解し受診につながるよう勧奨する。集団受診者には1月より電話で受診状況調査し勧奨する。3月に再通知し受診勧奨していく。	健康推進課

3 家族、世帯を踏まえた取組の推進

ライフ ステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況（12月末現在）	令和6年度実施計画	関係課
家族 世帯	128	家族・地域での交流を図り健康づくりに関心をもつ。	防煙教室を行うことで、家族が受動喫煙について話をするきっかけになった。（公立保育園9園、幼稚園5園、こども園2園の年長児695名に対し実施）	防煙教室の内容を園からの意見を参考に改良しながら継続していく。	健康推進課

歯と口腔保健計画に関する行政の取組

1 歯と口腔の健康づくり

(1) ライフステージ別の歯と口腔の健康づくり

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
妊娠期・乳幼児期	1	歯と口の健康週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	歯と口の健康週間の際に保健センターにポスターを掲示し、6月の広報で周知を行った。	歯と口の健康週間の際に保健センターにポスターを掲示し、広報で周知していく。	健康推進課
	2	母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査を啓発する。	日程一覧表の内容を精査し、母子健康手帳交付時に必要な方に対し健診を勧奨した。	日程一覧表の内容を精査し、母子健康手帳交付時に必要な方に対し健診を勧奨していく。	健康推進課
	3	乳幼児期からの歯と口腔の発育の大切さについて周知する。	乳児健康診査、子育て相談、もぐもぐ歯っぴい教室でリーフレットを配布し、内容の説明をした。	3~4か月児健診、子育て相談、親子であそぼう!歯っぴい教室で配布しているリーフレットの内容を精査して各事業で配布していく。	健康推進課
	4	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	フッ素入り歯磨剤や理想的なおやつを自発的に選択できるよう、リーフレットの内容を精査し、母子歯科健診等で配布した。	フッ素入り歯磨剤や理想的なおやつを自発的に選択できるよう、リーフレットの内容を精査し、母子歯科健診等で配布していく。	健康推進課
	5	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	各健康診査(パパママ教室(歯科)、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査)でフロスの使用効果について啓発した。	各健康診査(パパママ歯科健診、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査)でフロスの使用効果について啓発していく。	健康推進課
	6	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	パパママ教室(歯科)、もぐもぐ歯っぴい教室で啓発した。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査時にリーフレットを配布した。	パパママ歯科健診で啓発する。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査時にリーフレットを配布していく。	健康推進課
	7	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	母子歯科健診後、対象者に治療勧奨し後日受診状況を確認した。	母子歯科健診後、対象者に治療勧奨し後日受診状況を確認していく。	健康推進課
	8	マタニティ教室等で、たばこが妊婦・胎児に与える影響をわかりやすく普及・啓発する。	母子健康手帳交付時、対象者に禁煙、受動喫煙についてのリーフレットを配布し説明した。パパママ教室(一般・歯科)で啓発した。	母子健康手帳交付時、対象者に禁煙、受動喫煙についてのリーフレットを配布し説明した。パパママ教室(一般・歯科)で啓発していく。	健康推進課
	9	口腔習癖の弊害を啓発する。	母子歯科健診で、口腔習癖を持っている人に個別で声掛けをし支援し、次回の健康診査の際に確認した。	母子歯科健診で、口腔習癖を持っている人に個別で声掛けをし支援し、次回の健康診査の際に確認していく。	健康推進課
	10	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	パパママ教室(歯科)、離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室で、身体的発達と、舌、口唇の働きの関連や、口腔の発達に合った食形態について啓発した。	パパママ歯科健診、離乳食教室、親子であそぼう!歯っぴい教室で、身体的発達と、舌、口唇の働きの関連や、口腔の発達に合った食形態について啓発していく。	健康推進課
	11	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020(ハチマルニイマル)運動」を推進する。	8020を達成し、健やかな人生を送る為、妊娠中から乳幼児期にかけて身につけておきたい口腔衛生習慣についてパパママ教室(歯科)で啓発した。	8020を達成し、健やかな人生を送る為、妊娠中から乳幼児期にかけて身につけておきたい口腔衛生習慣についてパパママ歯科健診で啓発していく。	健康推進課
児童期・思春期	12	歯と口の健康週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	毎月、給食にかみごたえのある食品を取り入れ、「かみかみの日」を設けて献立表や放送資料で紹介を行っている。	毎月、給食にかみごたえのある食品を取り入れ、「かみかみの日」を設けて献立表や放送資料で紹介を行う。	学校教育課
	13	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	小中学校において、かかりつけ歯科医を持つよう啓発した。	小中学校において、かかりつけ歯科医を持つよう啓発していく。	健康推進課 学校教育課
	14	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	小中学校において、おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及した。	小中学校において、おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及していく。	健康推進課 学校教育課
	15	歯と口腔の大切さについて、周知する。	小中学校において、歯や口腔の大切さについて啓発した。	小中学校において、歯や口腔の大切さについて啓発していく。	健康推進課
			小学校においてバトンタッチ運動を、海部歯科医師会の協力のもと、実施する。3校1,000人	小学校においてバトンタッチ運動を、海部歯科医師会の協力のもと、実施する。3校1,000人	学校教育課
	16	歯みがき指導を推進する。	小中学校において、歯みがき指導を実施した。	小中学校において、歯みがき指導を実施していく。	健康推進課
			小学校においてバトンタッチ運動を、海部歯科医師会の協力のもと、実施する。3校1,000人	小学校においてバトンタッチ運動を、海部歯科医師会の協力のもと、実施する。3校1,000人	学校教育課
	17	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	小中学校で、歯間清掃用器具の使用効果について啓発する。	小中学校で、歯間清掃用器具の使用効果について啓発していく。	健康推進課 学校教育課
	18	むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発する。	小中学校で、むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発した。	小中学校で、むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発していく。	健康推進課 学校教育課
19	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	学校教育課	
20	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	小中学校で、成長に伴う口腔機能の発達について啓発した。	小中学校で、成長に伴う口腔機能の発達について啓発していく。	健康推進課 学校教育課	

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
児童期・青年期	21	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020(ハチマルニイマル)運動」を推進する。	小中学校で、8020運動について周知した。	小中学校で、8020運動について周知していく。	健康推進課 学校教育課
	22	歯と口の健康週間に合わせ、口腔管理について啓発する。	6月に各保健センターにポスター掲示、広報で周知をした。	6月に各保健センターにポスター掲示、広報で周知していく。	健康推進課
青年期・壮年期・高齢期	23	口腔疾患と全身疾患の関係性についての知識を普及する。	広報で歯周病と全身疾患について掲載した。	広報で歯周病と全身疾患について掲載していく。	健康推進課
	24	医科、歯科、薬科等関係機関との連携を強化する。	医師、歯科医師、薬剤師代表を含む委員で構成される歯と口腔保健推進協議会において情報交換を行い、連携の強化を図る予定。1月開催予定。	医師、歯科医師、薬剤師代表を含む委員で構成される歯と口腔保健推進協議会において情報交換を行い、連携の強化を図っていく。	健康推進課
	25	口腔機能の向上を啓発する。	市公式ウェブサイトにて健口体操の周知を行った。	市公式ウェブサイトにて健口体操の周知を行っていく。	健康推進課
	26	歯と口腔の健診の受診勧奨をする。	がん検診・30・35歳健診と同時に行い、昨年度より健診日を3日増やし、76歳に受診勧奨はがきを送付することで受診者の増加を図った。6回177人が受診した。	がん検診・30・35歳健診と同時に行い、受診日を9回とし、75歳に受診勧奨はがきを送付することで、受診者の増加を図っていく。	健康推進課
	27	喫煙が及ぼす歯周病への健康影響について周知する。	喫煙と歯周病に関するリーフレットを歯と口腔の健診受診者に配付した。	喫煙と歯周病に関するリーフレットを歯と口腔の健診受診者に配付していく。	健康推進課
	28	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020(ハチマルニイマル)運動」を推進する。	9020表彰2人、8020表彰35人を実施した。10020表彰は2月実施予定。	10020・9020・8020表彰を実施する。	健康推進課
	29	介護予防(口腔機能の向上)を啓発する。(高齢期)	介護予防教室で実施した。	介護予防教室等で実施する。	高齢福祉課
			歯と口の健康を保つことを目的として、「オーラルフレイルについて学ぼう!」講座を、シルバーカレッジの授業として実施した。 日時:11月14日(火) 午前9時30分~午後0時30分 会場:シルバーカレッジ教室 対象:令和5年度シルバーカレッジ受講生 受講者数:33名	歯と口の健康を保つことを目的として、「オーラルフレイルについて学ぼう!」講座を、シルバーカレッジの授業として実施する。 日時:11月12日(火) 午前9時30分~午後0時30分 会場:シルバーカレッジ教室 対象:令和6年度シルバーカレッジ受講生	生涯学習課
	30	要介護者の口腔機能向上のため、往診治療や往診歯科口腔指導のサービスについて啓発する。	民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓發文書を配布した(10,469人)。クラブで口腔機能の向上について啓発した(87人)。	民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓發文書を配布する。はつらつクラブでオーラルフレイルと口腔機能の向上について啓発していく。	健康推進課
相談対応時に情報提供を行った。 介護保険サービス事業者連絡会において、歯科医師の講義と歯科医師及び介護関係職員との交流を行った。			相談対応時に情報提供を行う。 介護保険サービス事業者連絡会において、歯科医師の講義と歯科医師及び介護関係職員との交流を行う。	高齢福祉課	
31	お薬手帳の利用を勧奨する。	窓口や健康相談に来所された高齢者、各教室参加者に対し、お薬手帳利用の重要性について啓発した。	窓口や健康相談に来所された高齢者、各教室参加者に対し、お薬手帳利用の重要性について啓発していく。	健康推進課	

(2) 食育との関わり

ライフステージ	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
乳妊・幼・娠・児・期	32	口から食べる準備や、食べる機能(特に咀嚼)と食べ方、摂食機能の発達段階に対応した基本的な支援を実施する。	離乳食教室(15回101人)、もぐもぐ歯っぴい教室(9回74人)において、口腔発達段階に応じた適切な食形態、食べ方や食べさせ方の情報提供を行った。	離乳食教室において、口腔発達段階に応じた適切な食形態、食べ方や食べさせ方の情報提供を行っていく。	健康推進課
児童期・思春期	33	歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や味覚の発達に関する支援を実施する。	小中学校で、歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や味覚の発達に関する支援を実施した。	小中学校で、歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や味覚の発達に関する支援を実施していく。	健康推進課
					学校教育課
青年期・壮年期	34	食べ方による生活習慣病対策に関わる支援を実施する。	栄養相談や保健指導の際に、必要な方にゆっくりよくかんで食べるよう指導した。	栄養相談や保健指導の際に、必要な方にゆっくりよくかんで食べるよう指導していく。	健康推進課
高齢期	35	口腔機能の維持や、機能減退による誤嚥・窒息の防止を始めとする安全性に配慮した支援を実施する。	民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓發文書を配布した(10,469人)。はつらつクラブで口腔機能の向上について啓発した(87人)。	民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓發文書を配布した。はつらつクラブで口腔機能の向上について啓発していく。	健康推進課

食育推進計画に関する行政の取組

1 食育推進の施策展開

施策	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
1 食を通じて健康な体をつくる	1	バランスのとれた規則正しい食生活の実践を啓発する。	母子健康手帳交付(422人)時やパパママ教室(9回122人)で、バランスのとれた規則正しい食生活の啓発を行い、希望者に対して個別栄養相談や子育て相談を行った。	母子健康手帳交付時やパパママ教室で、バランスのとれた規則正しい食生活の啓発を行い、希望者に対して個別栄養相談や子育て相談を行う。また、子育て支援センターにおいて食育ボランティアが栄養、食生活に関する講話を行うために保育課と調整し実施する。	健康推進課
	2	食に関する指導を充実させ、食育を推進する。	関係機関と連携を図りながら、毎日の給食メニューを写真で掲示し行事等で園児、保護者へ食育の推進を図った。	関係機関と連携を図りながら、毎日の給食メニューを写真で掲示し行事等で園児、保護者へ食育の推進を図っていく。	保育課
	3	給食だよりの充実を図る。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導した。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導する。	学校教育課
	4	食育に関する地域の社会資源との連携を推進する。	保護者に給食だよりや献立表を配布し、食に関する知識の普及に努めた。	保護者に給食だよりや献立表を配布し、食に関する知識の普及に努める。	学校教育課
	5	食育の日(毎月19日)を啓発する。	J A海部東と協同し、あま市の農作物を多く給食で使用できるように連携した。	J A海部東と協同し、あま市の農作物を多く給食で使用できるように連携する。	学校教育課
	5	食育の日(毎月19日)を啓発する。	食育の日は食育計画に沿った活動を園便りや掲示板で保護者に知らせ啓発に努めた。	食育の日は食育計画に沿った活動を園便りや掲示板で保護者に知らせ啓発に努めていく。	保育課
	6	食の安全・安心に関する知識を啓発・普及する。	毎月19日前後の給食を食育の日献立とし、年間計画の食に関する指導の全体計画に沿った献立を提供した。	毎月19日前後の給食を食育の日献立とし、年間計画の食に関する指導の全体計画に沿った献立を提供する。	学校教育課
	6	食の安全・安心に関する知識を啓発・普及する。	7月に食の安全・安心に関する内容などを掲載した。保護者向けの食育だよりと食に関する情報を掲載した。教職員向けの食育メッセージを配付した。また、2月にも配布を予定している。	食の安全・安心に関する内容などを掲載した食育だよりを保護者に配付する。また、食に関する情報を掲載した食育メッセージを各学校の教職員に配布する。	学校教育課
7	朝食や野菜の摂取を始めとする望ましい食習慣を普及する。	広報10月号、3月号に食育ボランティアによるレシピを掲載した。また、おやつ教室の活動を支援した。	地域へ出向き、食育活動を推進するよう、引き続き支援していく。	健康推進課	
7	朝食や野菜の摂取を始めとする望ましい食習慣を普及する。	乳児健診の保護者(407名)にリーフレットを配布し、野菜摂取量の増加を促した。野菜摂取量増加を促すため、市内店舗に対し、「たっぷり野菜あまごはん」「健康づくり応援店」を周知し、市内8店舗の飲食店を認定した。市公式ウェブサイト、広報1月号にて順次掲載予定。	3~4か月児健診の保護者に野菜摂取量の増加を促すため、リーフレットを配布する。野菜摂取量増加を促すため、市内店舗に対し、「たっぷり野菜あまごはん」「健康づくり応援店」を周知していく。また、広報、市公式ウェブサイト、市公式LINEにて、朝食の大切さや食育ボランティアによる朝食が取れるような簡単なメニューレシピを随時更新し掲載していく。	健康推進課	
8	適正体重を周知する。	広報7月号で適正体重について周知した。生き生き推進隊とともに、健康相談において体組成計を使用し、適正体重について周知した。(7回65人)	広報7月号で適正体重について周知していく。	健康推進課	
2 食を通じて豊かなこころを育む	9	給食内容の充実を図る。	毎月献立検討会、物資選定委員会等を開催して、内容の充実を図った。J A海部東と協同し、あま市の農作物を給食で使用できるように連携に取り組んだ。また、全国の郷土料理を大量調理できるようにアレンジしたものを給食に取り入れ、給食だより等で紹介した。	毎月献立検討会、物資選定委員会等を開催して、内容の充実を図る。J A海部東と協同し、あま市の農作物を給食で使用できるように連携に取り組む。また、全国の郷土料理を大量調理できるようにアレンジしたものを給食に取り入れ、給食だより等で紹介する。	学校教育課
	10	給食を通して子どもの豊かなこころを育成する。	食に関する指導で食べ物の大切さについて話をするとともに、給食だよりや放送資料を活用して豊かな心の育成するように行っている。学校給食センター見学を実施し、給食への理解・関心を深めた。	食に関する指導で食べ物の大切さについて話をするとともに、給食だよりや放送資料を活用して豊かな心の育成するように行う。学校給食センター見学を実施し、給食への理解・関心を深める。	学校教育課
	11	食文化や郷土料理を継承する。	愛知県及び全国の郷土料理を大量調理できるようにアレンジをして給食に取り入れ、給食だより等で紹介した。	愛知県及び全国の郷土料理を大量調理できるようにアレンジをして給食に取り入れ、給食だより等で紹介する。	学校教育課
	11	食文化や郷土料理を継承する。	食育ボランティアがあまっこコンテストに参加。広報10月号に地産地消、広報3月号にSDGs(フードロス削減)をテーマにしたレシピを掲載予定。	食育ボランティアが引き続き活動できるよう支援していく。	健康推進課
12	子どもや親子を対象とした講座・料理教室等を開催する。	「オーブントースターで焼くパン講座」等、親子で作り方を学びながら調理できる講座を実施した。	「オーブントースターで焼くパン講座」等、親子で作り方を学びながら調理できる講座を実施する。	生涯学習課	
12	子どもや親子を対象とした講座・料理教室等を開催する。	日時:①4月29日(土)午前10時~正午 ②9月2日(土)午前10時~正午 会場:美和公民館 1階調理室 対象:小学生とその保護者 受講者数:①12組24名、②11組23名			
		食育ボランティアによる親子おやつ教室を実施した。開催日時:7月26日(水)参加者9人	親子で食について学ぶよい機会であるため、継続できるよう支援していく。	健康推進課	

施策	番号	第2次計画の取組項目	令和5年度の取組状況(12月末現在)	令和6年度実施計画	関係課
2 食を通じて豊かなこころを育む	13	全ての世代に向けて、食育に関わる情報を発信する。	関係機関と連携を図りながら、毎日の給食メニューを写真で掲示し行事等で園児、保護者へ食育の推進を図った。	関係機関と連携を図りながら、毎日の給食メニューを写真で掲示し行事等で園児、保護者へ食育の推進を図っていく。	保育課
			栄養士が各園に訪問し、園児に対して食品カード等を使用し、食に関する指導を行った。また、栄養教諭が、就学時検診の時に、生活習慣などについての話を行った。	栄養士が各園に訪問し、園児に対して食育媒体を使用し、食に関する指導を行う。また、栄養教諭が、就学時検診等で、生活習慣などについての話を行う。	学校教育課
			各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導した。また、校内食育推進委員会などを活用し、教職員の食に関する意識を高めた。	各小中学校において食に関する指導の全体計画・年間計画をもとに指導する。また、啓発資料などを活用し、教職員の食に関する意識を高める。	学校教育課
	14	子どもが保護者や地域とともに食育を学べる機会を設ける。	食育ボランティアによるおやつ教室を開催した。 開催日時：6月8日(木)参加者5人 7月26日(水)参加者9人	食育ボランティアが引き続き活動できるよう支援していく。子育て支援センターにおいて食育ボランティアが栄養、食生活に関する講話を行うために保育課と調整し実施する。	健康推進課
			親子料理教室を実施した。	親子料理教室の開催を計画する。	学校教育課
			食育ボランティアがあまっこコンテストに参加。広報10月号に地産地消、広報3月号にSDGs(フードロス削減)をテーマにしたレシピを掲載予定。	今年度もあまっこコンテストへの協力をしていく。	健康推進課
3 食を通じて環境に優しい暮らしを築く	15	地産地消に関する情報を提供する。	あま市の農作物をより多く給食で使用できるようにJA海部東と連携を図り、給食で使用する農作物については、給食だよりや学校放送資料等に記載し、情報提供した。	あま市の農作物をより多く給食で使用できるようにJA海部東と連携を図り、給食で使用する農作物については、給食だよりや学校放送資料等に記載し、情報提供する。	学校教育課
			食育ボランティアがあまっこコンテストに参加。広報10月号に地産地消、広報3月号にSDGs(フードロス削減)をテーマにしたレシピを掲載予定。	食育ボランティアとともに、あまっこコンテストへ協力をしていく。	健康推進課
	16	食の情報が得られる講座等を開催する。	各学校で開催される保護者対象の給食試食会や給食参観にて栄養教諭が食について講話を行った。	各学校で開催される保護者対象の給食試食会や給食参観にて栄養教諭が食について講話を行う。	学校教育課
			食育ボランティアによるおやつ教室を開催した。 開催日時：6月8日(木)参加者5人 7月26日(水)参加者9人	食育ボランティアが引き続き活動できるよう支援していく。	健康推進課
	17	特産野菜・伝統野菜をPRする。	公式ウェブサイトを紹介ページを設け、あま市の特産・伝統野菜をPRする。また、生産者と協力し、庁舎1階ロビーにニツ寺大根の種を配布し、市民の関心を高めるよう取り組んだ。	市公式ウェブサイトを紹介ページを設け、あま市の特産・伝統野菜をPRする。また、生産者と協力し、市民の関心を高めるよう取り組む。	農政課
			給食で使用する農作物を、給食だよりや学校放送資料等に記載し配布した。	給食で使用する農作物を、給食だよりや学校放送資料等に記載し配布する。	学校教育課
	18	伝統野菜を継承する。	学校給食の献立に越津ねぎ、小松菜の活用した。	学校給食の献立に越津ねぎ、小松菜の活用していく。	学校教育課
			愛知県内や海部地域の食品を優先して使用している。 JA海部東と協同し、あま市の農作物をより多く給食で使用できるように取り組んだ。	愛知県内や海部地域の食品を優先して使用する。 JA海部東と協同し、あま市の農作物をより多く給食で使用できるように取り組んでいく。	学校教育課
	19	給食において地元農産物を活用する。	あま市立小中学校及び公立保育園に対して、有機野菜を使用した給食を年3回(5月、12月、翌1月)提供した。	子どもたちへの安全安心な給食の提供を目指して「オーガニック食材を活用した給食の推進」を進めており、SDGsの観点から、安全安心で環境負荷の少ない有機野菜を定期的に給食へ取り入れていく。	学校教育課
			学校給食の主食で米飯を週4回以上提供した。	学校給食の主食で米飯を週4回以上提供していく。	学校教育課
21	食べ物に感謝する食育を推進する。	保育園で栽培する野菜の生長過程を見せたり収穫体験を行った。また、家庭に持ち帰り調理することで親子で食についての会話につながるよう努めた。	保育園で栽培する野菜の生長過程を見せたり収穫体験を行ったりする。また、家庭に持ち帰り調理することで親子で食についての会話につながるよう努めていく。	保育課	
		保育園の残食量について園職員に周知を行った。	保育園の残食量を園職員に周知していく。	保育課	
		保育園・学校に食の指導を実施した。食べ物の大切さについて話し、食に関する指導をした。 また、全小中学校で4年生を対象に魚に関する食育授業を実施した。	保育園・学校に食の指導を実施する。食べ物の大切さについて話し、食に関する指導を行っていく。	学校教育課	
22	食品廃棄物の減量に向けた取組の充実を図る。	学校で食の指導を通して、食べ物の大切さについて話し、食品廃棄物の減量に取り組んだ。	学校で食の指導を通して、食べ物の大切さについて話し、食品廃棄物の減量に取り組んでいく。	学校教育課	